

令和4年度 教育部長マニフェスト

教育部長

女澤 康子

【基本方針】

子どもから大人まですべての市民が生涯にわたって学びあい、育ちあい、豊かな心と個性を育み、様々な場面で活躍できる「総合力豊かな人材を育てるまちづくり」の実現に向け、学校教育及び生涯学習の充実を推進するとともに、生涯スポーツの振興に努めます。

また、岩手県指定史跡となった「久慈城跡」について、市民と連携して史跡の保護を図るとともに、調査研究に努め、「久慈城跡」の文化的価値について情報を発信し、保護意識の啓発に取り組みます。

【重点目標】

1 学校教育の充実

○内容

- 国際理解教育の充実のため、生きた外国語や異文化に直接触れる機会を提供し、学校における外国語活動の充実を図ります。
- 外国語に対する興味・関心がある児童生徒の割合の向上を図ります。(小学校R3実績69%→R4目標70%、中学校R3実績49%→R4目標53%)
- 岩手県中学2年生英検IBAの平均スコア650点以上を目指します。
- 通学路の安全を確保するため、通学路の合同点検を実施し、危険箇所の把握と安全対策を実施します。
- 注意喚起のため、必要な箇所に看板を設置します。
- 児童生徒が快適で、安心・安全な学校生活を送れるよう学校施設の整備に努めます。
- 久慈湊小学校移転改築事業を推進します。(移転候補地の決定)
- 学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの学びの充実を図るため、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の導入による地域学校協働活動の充実に取り組みます。
- コミュニティ・スクール設置4校以上を目標とします。

2 生涯学習の充実

○内容

- 子どもから高齢者までの多種多様な学習意欲を支援するため、ニーズに応じた学習機会の提供に努めます。
- 「琥珀のまち生涯学習ボランティアバンク」及び「まちづくり直送便」による講師派遣、出前講座の実施回数80回、利用者数2,000人を目標とします。【コロナ影響】
- 児童生徒の読書活動を推進するため、図書館から司書を派遣し読書活動や資料修理、環境整備等を行い、学校図書館への支援を実施します。
- 訪問支援する学校、年間8校以上を目標とします。

3 地域の歴史と文化の継承と発信

○内容

- 地域の史跡、文化財、古民具等の調査を実施する体制を充実させ、保存と情報発信に努めます。
- 岩手県指定史跡となった「久慈城跡」について、現地見学会や講座を2回以上開催し、市民の理解と保護意識の啓発を図ります。
- 久慈出身の武将、南部(大浦)光信公と津軽氏にゆかりの5自治体が交流する「歴史文化で結ぶ交流事業」開催に併せて、郷土の歴史や文化について理解を深めることを目的に「光信公資料展」を開催し、1,000人の来場者数を目標とします。【コロナ影響】

4 生涯スポーツの振興

○内容

- 生涯スポーツの充実のため、市民誰もが主体的、継続的にスポーツに親しみ、健康増進と体力づくりのできる環境の整備に努めます。
- 「あまちゃんマラソン」を開催し、当市の魅力を発信します。参加人数については、800人を目標とします。【コロナ影響】
- 生涯スポーツに関する満足度平均値(市民満足度アンケート)の向上に取り組みます。(R3実績3.106ポイント→R4目標3.106ポイント以上)
- 「柔道のまちづくり」の推進のため、三船十段記念館を会場に各種大会、柔道教室を開催し、柔道の普及と競技力の向上を図るとともに、道場生の確保に努めます。
- 三船記念館道場生新規入門者数10人以上を目指します。

※【コロナ影響】…新型コロナウイルス感染症の影響を受けることが予想される目標